

自民党 京都市会議員団 ニュース

令和2年(2020)3月31日発行

■発行人／橋村芳和
 ■編集委員／森田守、加藤昌洋、平山たかお
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/



令和2年度京都市予算 全会計合計 1兆6,845億円

一般会計 7,840億円 特別会計 6,281億円
 公営企業会計(上下水道、市バス・地下鉄) 2,725億円

令和2年度予算案を審議した2月市会が去る3月25日に閉会し、未来の京都市のためとなる全会計合計1兆6845億円の予算案を可決しました。

京都市の財政が厳しいと言われていますが、それって本当ですか？



令和2年度の予算は、公債償還基金^{*1}の取崩しのほか、行政改革推進債^{*2}や本市初の調整債^{*3}の発行など、特別の財源対策を193億円も実施しているので、厳しい財政だと理解しています。

じゃあ、その特別の財源対策をやめたら良いのではないのですか？

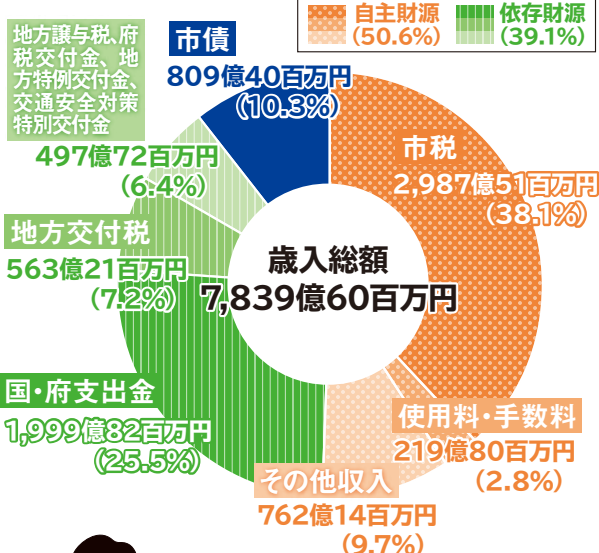


たしかに、やめたいんだけど、市債を起債してもやらなくてはいけない未来への投資となる事業(インフラ整備など)や皆さんの生活を支えるもの(新型コロナウイルス感染症対策など)は実施しなくてはけません。なので、私たちは、市民生活を守りながら、未来の為に、持続可能な財政となるように議論をしています。



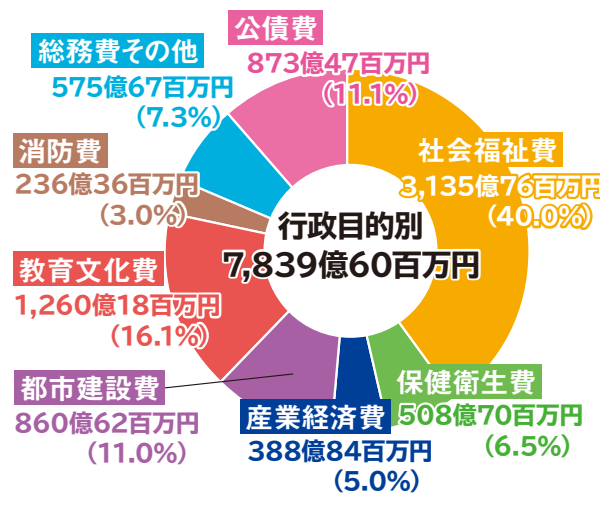
^{*1} 公債償還基金…将来の借金返済のための基金
^{*2} 行政改革推進債…行政改革を前提に通常の市債に上乗せできる地方債
^{*3} 調整債…減収により発行が認められている特例的な地方債

一般会計歳入予算の内訳



京都市の予算を編成するには国や府との信頼関係が大切だね！

一般会計歳出予算の内訳



京都市は、観光ばかりにお金をかけるとよく言われるけど、このグラフを見たら、社会福祉に手厚い街だってわかるね！

補欠選挙の実施要件に係る 公職選挙法の整備を求める意見書を提出！！

左京区の市会議員が市長選挙出馬に伴い、辞職を選ばず、自動失職としたため、3年以上欠員となる事態が発生…。我々、自民党市会議員団は、市会議員という役割の重要性を鑑み、以下の意見書を提出！！

先般の京都市長選挙において、左京区選出の市会議員が、立候補のために自動失職した。これにより、左京区の市会議員定数8名のうち、1名が欠員となった。京都市では、市会議員選挙が行われるのは市長選挙後3年以上先であるため、このままでは任期4年のうち3年以上議員の欠員状態が続く。

12年前も同じ市会議員が市長選挙への立候補のために自動失職したため、3年以上1名欠員のままであった。

現行制度では、欠員数が当該選挙区の議員定数の6分の1を超えない場合には、市長選挙の告示前10日までに議員自らが辞職しなければ、補欠選挙は行われない。これでは、議員本人の意思により補欠選挙が行われるかどうか左右されることになる。しかしながら、市会議員の役割の重要性を考えると、議員の意思により補欠選挙の有無が生じることは、到底市民理解が得られるものではない。

京都市において、上記のとおり、同様の事例が2度にわたり発生していることを踏まえると、法整備により手当てするしか防ぐ手立てがない状況である。

例えば、京都市では、今後3年間に、左京区においても衆議院議員選挙、参議院議員選挙、知事選挙が必ず行われることから、その際に市会議員の補欠選挙を行うことなどが可能になれば、長期の欠員を防ぐことができる。

よって国におかれては、長期にわたり議員の欠員が続くことがないように、補欠選挙の実施要件に関し、公職選挙法を整備することを求める。

※自民、共産、公明、民フ、維新は賛成、京都党は反対

大型汎用コンピュータ オープン化事業に対し「警告」

京都市の基幹業務システムは、30年間にわたり特定事業者の固有の技術で作られたものに改修を繰り返してきましたが、一般に広く利用されている機器及びシステムに刷新する「オープン化事業」を進めてきました。

当初、平成29年1月の稼働を予定していましたが遅延が発生。新たな受託事業

者のもと令和2年1月の稼働を目指していましたが稼働を1ヶ月後に控えた昨年末、再び稼働が遅延するとの報告がされました。

議会としては、3年間の開発延期、17億円の市民負担増を指摘するとともに、更なる猛省のうえ、市民負担増や計画の遅延がないよう指摘し、進捗状況の議会への報告を求めていました。

が、現在においてもシステム稼働の日程が示せないなど市民理解を得るには程遠い内容となっていることが分かりました。

そこで、我々自民党京都市会議員団は、「よって本市会は、十分な総括と市民に理解が得られる内容を議会に速やかに報告することを求める」との警告を予算に付しました。

※警告…可決した議案に付ける市会の意志。付帯決議よりも強い意志を示す。

門川市政4期目スタート

147万市民のため141の公約 全国随一の市民力と国・府と緊密連携

山科区

富きくお議員

■富きくお議員（質問）4期目スタートとなる令和2年度予算編成にあたり、今後の市政方針と141の公約実現に向けた決意をお伺いします。

■門川大作市長（答弁）これまで市民ぐるみで進めてきた取組への評価と未来への期待をいただき、約束した141の公約を確実に実行し、147万市民のため全身全霊を捧げる決意です。5つの政

富きくお議員の質疑項目

- 1 市長の4期目に当たっての市政方針と141の公約実現に向けた決意について
- 2 令和2年度予算と持続可能な財政の実現について
- 3 新型コロナウイルス感染症の対策について
- 4 山科区の交通問題について

策の柱の下、「次の京都へ」まちづくりを新たなステージへと進めていきます。

① 人生100年時代の安心への挑戦

② 防災・減災先進都市への挑戦

③ 力強い経済と都市の活力への挑戦

④ 文化の力によるくらしと心の豊かさの実現への挑戦

⑤ まちづくりを支える持続可能な財政への挑戦

これらの挑戦は決して容易ではありませんが、全国随一の市民力、地域力、緊密な府市協調、国との強固な連携などを結集し、市民の皆様とワンチームとなり、未来を力強く切り拓いていく決意です。

税収不足に新たな歳入財源の創出を

■富きくお議員（質問）歳出に際しては、たゆまぬ見直しは当然ですが、歳入に

関しては、これまでの延長線上ではなく、新たな財源を創出する抜本的な取組が必要です。全ての職員が

もつとどん欲に「稼ぐ」という強い意識をもって税収増加、税外収入の確保に取り組むべきですが、いかがですか。

■門川大作市長（答弁）令和2年度は一般財源収入がこの10年で最大となる82億円減少となります。将来にわたり市民の皆様のくらしを守るため、市民参画の下、聖域なき歳出改革の徹底と、抜本的な財源の創出が不可欠です。公約の

空き家やセカンドハウス所有者等への適正な負担も議論してまいります。

山科のバス路線確保へしつかり協議

■富きくお議員（質問）山科区では地下鉄開業時に市バスが撤退後、バス路線が非常に

不便となっておりますが、市バスを復活させ、民間バスとの共同運行はできないでしょうか。

市内中心部から西・南部へ

新交通システム導入検討

京都市創造都市圏・環状ネットワークを

西京区

田中明秀議員

■田中明秀議員（質問）今回の市長選挙で示された京都市創造都市圏・環状ネットワークについて市長の熱い思いを、決意をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）市内中心部から西部・南部圏域へとつながる交通アクセスを格段に向上させ、京都の新たなまちづくりを進めることを、京都府の西脇知事とも合意し、今回の市長選挙に当たって公約として掲げたものです。

近年、自動運転をはじめ、未来の交通システムに関する研究が進み、交通政策をとりまく環境は大きな転換点を迎えております。

創造都市圏を創出するための交通ネットワークの構築に向け、令和2年度の設置を御

り組んでおりますが、「循環バス」等の本格運行につながるよう支援をすることも、市バスとの共同運行なども含めてしっかりと協議してまいります。

業が生業として確かな収入増につながるよう今後どのような取組をされていけるのか。

■岡田憲和副市長（答弁）農産物の販売強化と生産性の向上、高付加価値化の3つの取組を推し進めることが大変重要と考えております。

販売強化については、小規模農家の共同出荷体制を整え、中央卸売市場への出荷を進めるなど、大規模な他産地に対抗できるように、販路の安定と拡大を図ってまいります。

生産性の向上については、ICT技術を活用した自動運転トラクターなど、スマート農業機械の導入を支援し、農作業の省力化・効率化を強力に進めます。

高付加価値化については、生産、加工にとどまらず、販売先の確保まで支援する伴走型の6次産業化を推進します。

■田中明秀議員（質問）芸大

農業収入増へ3つの高度化を推進

■田中明秀議員（質問）京都の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

の食文化の創造、発信、農林業の成長産業化に向けて農林

市立芸大の正面写真



の跡地活用については、西京区・洛西地域のみならず、京都市全体の活性化に資する活用をしていただきたい。洛西地域の都市計画も含め、方向性を示していかねばならないが、市長はどのようにお考えか。

■門川大作市長（答弁）洛西地域における交通の利便性向上を目指すとともに、令和5年度の芸大移転を控え、地域資源を生かした仕事の創出の視点、イノベーションを生み出す産学公連携の視点、さら

には、洛西地域はもとより市全体の活性化に寄与する視点を持ちつつ、地域の皆様のご意見も十分に踏まえて、令和2年度中に一定の方向性を示し、スピード感を持って取り組んでまいります。

■田中明秀議員（質問）芸大

〔代表質疑〕 2月市会 (2月27日)

国・地元と連携「もり」を守る

災害に備えた森林整備

「鞍馬プラン」創設

●左京区
さくらい泰広議員

■さくらい泰広議員(質問)
平成30年9月の台風21号では、左京区鞍馬学区で甚大な風倒木被害が発生し、今もその傷跡が残っています。国の予算を活用した重要インフラ施設

周辺森林整備事業が令和2年度の当初予算案に盛り込まれ、鞍馬学区で事業が計画されて



令和2年度、左京区にてインフラ施設周辺の森林整備事業を実施予定

います。国、地元林業者、さらに叡山電鉄も整備経費の負担を検討している今回の「鞍馬プラン」のスキームでこの事業をさらに市内山間部で拡大実施する必要があると考えますが、いかがですか。
■門川大作市長(答弁)「鞍馬プラン」が創設されたことは、画期的なことであります。この制度の利用拡大に向け、更なる国の支援を得て、速やかな合意形成と事業の推進を図り、倒木被害の未然防止に努めます。

市営住宅団地再生事業 まちづくりと 地域の想い

■さくらい泰広議員(質問)
令和2年度に再生事業が計画されている、市営住宅は、いずれも一等地に立地し京都市にとっても貴重な公有財産です。京都市全体のまちづくりと、団地住民の想いを両立させた団地再生事業をどのように進めますか。

桜景観の保全 京都の桜を守る

■さくらい泰広議員(質問)

■鈴木章一郎副市長(答弁)
令和2年度、団地再生事業をスタートする左京区にある「養正」、「錦林」、「岡崎」のほか、「三条」、「壬生東」、「壬生」の各団地は非常に利便性の高い場所に位置しています。地域の活性化を図り、持続可能なまちづくりに資するよう、そして地域の皆様の想いを丁寧に伺いながら着実に事業を進めます。

日本の春の代名詞である京都市の桜が今、危機的な状況にあるというこの厳しい課題に対し、一刻も早く対処しなければなりません。ソメイヨシノを中心に京都市が管理する約1万本の桜について専門家の知見を踏まえながらどのようにして管理し景観を保全して継承されますか。

■門川大作市長(答弁) 京都市が管理する、ソメイヨシノを中心とした約1万本の桜に樹勢の衰えが見られ、そのため日常のパトロール点検や

地域を守るマネジメント

東山区の解決事例を元に 観光課題解決先進都市に向けて

●東山区
平山たかお議員

■平山たかお議員(質問)「観光公害」という言葉が、市長選挙等を通じて、一部マスコミを含め、多用されています。私は、観光客はもちろん、我々市民に対しても、適切な言葉だとは到底思えません。市長のご見解をお伺いします。

一方で、観光客の一部集中による課題は解決しなくてはなりません。東山区は京都の魅力や課題を凝縮したようなまちであり、正に東山区で課題を解決できたら、観光課題解決先進都市として真に名乗りを上げることができると思います。ですが、お考えをお伺いします。

●平山たかお議員の質疑項目●

- 1 観光課題解決先進都市に向けて
- 2 次代の財政経済政策について
- 3 子育て環境日本一に向けて
 - ・ 幼児教育・保育の推進について
 - ・ 児童虐待の防止と社会的養育の充実について
- 4 未来のまちづくりビジョンについて
- 5 文化庁移転を見据えた京都創生について
- 6 災害に強い上下水道事業について

「観光公害」という言葉は不適切な表現であると認識しており、このような表現は一切使っておりません。

腐敗防止処置を行っています。また、3千7百本の街路樹の桜については専門家の知見を踏まえ、順次更新しています。引き続き桜景観の創造にスピード感を持って取り組みます。

●さくらい泰広議員の質疑項目●

- 1 災害に備えた森林整備について
- 2 京都市全体の街づくりの視点からの市営住宅団地再生事業について
- 3 美しい桜景観の保全・継承について
- 4 インクルーシブ教育の視点を踏まえた医療的ケア児に対する対応の充実について
- 5 左京区北部地域の道路整備について
- 6 花背峠のトンネル化について (要望)
- 7 地下鉄国際会館駅前整備について (要望)

未来のまちづくり ビジョンについて

■平山たかお議員(質問) 未来に向けたインフラ整備をしっかりと進めていただきたい。また、未来を担う若者世代が京都に住み、働き続けられるまちづくりを是非ともお願いいたします。加えて、文化首都を掲げる京都において、「雨庭」は大変有意義な取組であり、積極的に推進していただきたい。今後の取組をお答えください。

■門川大作市長(答弁) 建物の高さやデザイン規制の特例制度、さらに建物用途や規模制限の見直し等についても検討し、各地域のポテンシャルを十分に引き出し、子育て世代や若者のニーズに合った住居や生活利便施設、市民がいきいきと働けるオフィス等の創出を図ってまいります。また、グリーンインフラの創出に向け、令和2年度は、東山区六原など市内3箇所雨庭



東山区六原の雨庭イメージパース

子育て環境 日本一に向けて

■平山たかお議員(質問)「子育て・教育環境日本一」を掲げる市長の幼児教育・保育の推進に懸ける決意、そして、令和2年度予算案にどのように反映しているのか、お答え下さい。

■門川大作市長(答弁) 病児保育や医療的ケア児の受入支援の充実をはじめ、国基準を上回る保育士の配置及び給与水準等、全国トップレベルの保育の質を維持・向上するとともに、1歳児保育における保育士配置体制の充実など、財政状況が非常に厳しい中、令和元年度比15億円増の55.5億円の幼児教育・保育関係予算を計上し、7年連続待機児童ゼロの実現に向け、着実に取り組んでまいります。

令和2年度京都市予算

平成から令和へ

新たな時代に向けての予算編成について、
自民党議員団21名に聞きました。

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市議会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

中京区 津田 大三



特別の財源対策が過去最高の193億円。厳しい財政状況が継続する中、新型コロナウイルスで京都の経済が緊急事態となっています。今こそ行政・議会の正念場。知恵を絞りだし対応していきます。

東山区 平山 たかお



門川市長四期目の新年度予算は調整債の発行をはじめ、厳しい財政運営のスタートとなりました。しかし、未来の為に投資、持続可能な健全財政の為に提案を含め、徹底的に議論を行いました。

山科区 吉井 あきら



議会の中で予算のスリム化を求めるとともに財政状況が厳しい状況にあっても市民のいのちとくらしを守りまちに活力を与え住みよいまち住みよいまちを目指し審議！責任ある政治を進めて参ります！！

南区 棕田 隆知



今の京都を築いて頂いたシニア世代に感謝の意を、子ども若者に公共による育成を、両者を支える現役世代に安定した保障を実感して頂けるよう、適切な配分を行い持続可能な責任を尽すことです。

右京区 森田 守



京都市政最大の課題の一つ「財政の健全化」の実現に向けて、二元代表制の一翼を担う議会として厳しくチェックを行いました。引き続き将来に負担を先送りしない京都市政を目指します。

西京区 西村 義直



予算審議を通じて147万市民の生活向上を目指して議論を深め、事業を前進、実現させるため皆様のご意見・ご要望を源泉としてなお一層、取り組ませていただきます。

伏見区 みちはた弘之



門川市政の4期目が始まり、二元代表制の下で、緊張関係を保ちながら、担税力の強化、行財政改革を推進し、子どもから高齢者が安心して安全に暮らせるまちづくりを目指して邁進します。

上京区 寺田 一博



特例的な市債である「調整債」が緊急避難措置として発行される。非常事態として受けとめ、予算の執行は極めて高いハードルを設け、次年度は調整債を発行しないという強い決意が必要。

南区 しまもと京司



私も一貫取組みしてきた大きな政策の柱の一つ『力強い経済の持続的発展と都市活力の創造』の予算では、地域企業の強化支援と産業用地・企業立地を促進、地域特性をいかしたまちづくりを！

右京区 井上 よしひろ



厳しい財政状況の中、令和2年度予算には、門川市長の市民との141のお約束の8割が計上。市民の皆様の暮らしを支える大切な予算であり、今後もしっかりと議論を進めて参ります。

伏見区 繁 隆夫



非常に厳しい財政の改善と京都の活力向上のため、保有資産の徹底した有効活用を進めなければならない。若者が夢や希望を抱き、京都で住み、働き続けられるまちづくりに取り組めます。

北区 山本 恵一



少子化対策・子育て支援の充実等、市民生活の安心安全を第一に据えた予算です。依然として厳しい財政状況にありますが、縮小一辺倒とならず未来に責任を持ち、議論を重ねて参ります。

左京区 さくらい 泰広



特別の財源対策が必要となったことは、残念です。京都市の未来を見据え、特に社会資本の整備や防災関連の予算を、市民の皆さんの安心・安全のため、着実に執行しなければなりません。

中京区 加藤 昌洋



様々な条件の下、京都市財政は厳しい状況にあり、新型コロナウイルスの影響も考えられます。このような中でも将来世代に対して、責任を持った財政運営を行うことを引き続き求めてまいります。

山科区 富 きくお



一般財源収入が82億円減少と極めて厳しい状況で歳入に関してはためまぬ見直しは当然。歳入についても新たな財源を創出し、市全職員が「稼ぐ」という強い意識で税収増、税外収入の確保を！

下京区 下村 あきら



市長選挙後初の予算。京都経済の持続的発展と市民生活の豊かさ等実現のため市長と市民との141のお約束を8割以上計上。「くらしに安心、まちに活力を実現実験の場」として活用し、京都経済を支える企業を育てる。

右京区 田中 たかのり



市民の経済的負担を増やすことなく、デジタル技術を活用し、市民サービスの向上を進める。また、京都市がリードし、街を現実実験の場として活用し、京都経済を支える企業を育てる。

西京区 田中 明秀



厳しい財政状況の中、更なる行財政改革と徹底した事業の見直しをしても特例的な地方債の調整債を発行せざるを得なかった。全庁あげて担税力の強化と税外収入の確保に取り組まなければならない。

伏見区 橋村 芳和



新型コロナウイルス感染症対策に時間をさいた伏見区では向島秀蓮の成功に続き、小栗栖でも一貫校に向けての一步が踏み出された。地元皆さんの英断に感謝。更なる統合推進で教育環境整備を！

上京区 中村 三之助



厳しい財政状況の中、縮小一辺倒にならず市民生活の安心安全を基に、担税力の強化、民間活力の導入、人件費の削減、事業の見直しなどの歳出改革を徹底し、持続可能な財政の確立を求めます。

左京区 豊田 恵美



暮らしを豊かにする「夢」と、財政難の「現実」のはざま、持続可能な社会をどうつくるのか。その中でも、福祉・医療・子育て支援・教育・防災対策等、市民生活を最優先した議論を重ねて参ります。